

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	健美道 今里
住 所	大阪府大阪市東成区大今里西2-16-15
電話番号	06-6974-1300

事業所番号	2711501201
管理者名	富永 在範
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上	○	90 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去 3 年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	50
②過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去 3 年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去 3 年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去 3 年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

(Ⅳ) 支援力向上 (※)			
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15	点
参加した職員が1人以上参加している	○		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回以上の場合	○		
③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている	○		
④販路拡大の商談会等への参加			
1回以上の場合	○		
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○		
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計 (注2)	5		
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点			

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計
190 点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 6 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	65,208.50	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	8,982.50	人	利用者の1日の平均労働時間数	7.26	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	----------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々々年度（ 4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	13,111,130	円	利用者に支払った賃金総額	60,009,501	円	収支	▲ 46,898,371	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前々年度（ 5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	62,020,718	円	利用者に支払った賃金総額	61,914,235	円	収支	106,483	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（ 6 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	84,323,335	円	利用者に支払った賃金総額	83,411,473	円	収支	911,862	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(III) 多様な働き方

前年度（ 6年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（ 6年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☐
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	障がい者雇用に係る研修会
研修講師	西 絢華
実施日・受講者数	3月19日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	先進的A型事業所の生産活動発表会
実施日	1月11日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	健美道今里の生産活動

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☐
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☐
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	A型事業所ワークサポート鶴見
実施日/参加者数	1月10日 2人
上記事業所び視察を受け入れる	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	ハンドメイドマルシェ
主催者名	小さな菜園株式会社
日時	2月22日
内容	事業所で作成した商品の展示・販売会への出品・参加。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	2022年12月1日
人事評価制度の対象職員数	9名
うち昇給・昇格を行った者	9名
当該人事評価制度の周知方法	
就業規則での記載。年3回の人事評価シート記入時の説明。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	健美道今里	事業所番号	2711501201
住 所	大阪市東成区大今里西2-16-15	管理者名	富永在範
電話番号	06-6974-1300	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所・・・株式会社F-ライン 実施日程・・・月・火・水・木・金 実施した生産活動・施設外就労の概要 施設外先及び地域の配達 利用者数・・・一日約5人	<活動の様子>  
<目的> 利用者が地域の一員として一般就労の施設外先でできる業務を行い、働く意欲を高めながら、地域との関係づくりを深める。 地域の人々が利用者に関する理解を促進し、効果的な事業運営に繋がることに期待される。 対象者にとっては人材不足の解消と人件費削減のメリットがある。社会貢献にもつながる。	
<成果> 荷物の運搬や配達をメインにドライバー業務を実施し、特に大きなトラブルがなく、スムーズに業務を進める様子。 また他社で荷物を扱う際、普段以上に集中力が高く、丁寧さが見られる。ただ障害特性上、コミュニケーション能力の向上が依然として課題となる。	

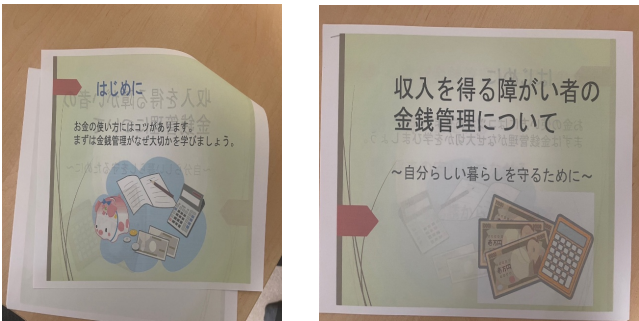
連携先の企業等の意見または評価

継続的にドライバー業務を取り込んでいただき、参加されるメンバーが全員丁寧にお仕事をされてる印象です。 驚くほど、運転技術が高く、特に元大型トラック運転手さんの二人が大活躍です。 今後もっと活躍して頂くためには、コミュニケーション能力の向上と情報共有を期待しています。			
連携先企業名	(株) F-ライン	担当者名	富永義明

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	健美道今里	事業所番号	2711501201
住 所	大阪市東成区大今里西2-16-15	管理者名	富永在範
電話番号	06-6974-1300	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 当法人会議室 実施日程 令和7年2月3日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 利用者の金銭管理研修 利用者数 4名	<活動の様子>  
<目的> 利用者がいきいきと安心して生活できるように、重要な金銭管理能力を向上し、自立を目指していただく。自分のお金を自分の意志で無駄なく使える能力を身に着けて、生活を楽しく、充実にする。	
<成果> 今まで自分のお金の使い方をもう一回見直し、改めて金銭管理の難しさを気づき、今後学んだ内容を生かして計画を立てて、自分らしく生活していく。 課題点としては計画通りに実施できない時に、修正や相談できる力も身に着ける必要がある。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

障がいをお持ちの方に金銭管理の大事なところを学んでいただくことは、地域社会の中で暮らしていく為にはとても大切な試みであると評価できます。 今回のお話が利用者様の生活にどこまで落とし込めるているかは定かではありませんが、何より大切なのは今後の金銭管理がどう変化するかなので、今後も連携をとらせて状況確認をさせて頂ければと思います。	
連携先企業（担当者）	社会保険労務士法人インフォ・テック（西岡大介/社労士）

利用者からの意見・評価

Aさん（女性） 今までお金の管理できてない、無駄使いがあると親に言われました。今回の研修を受けて、今後お金の管理を自分で出来るように、親にも信用されるようになりたいです。 Bさん（男性） 自覚がないですが周りにケッチなどよく言われました、貯蓄もいいですが、生活を豊かにするために、自分の金銭管理を見直していこうと思います。
